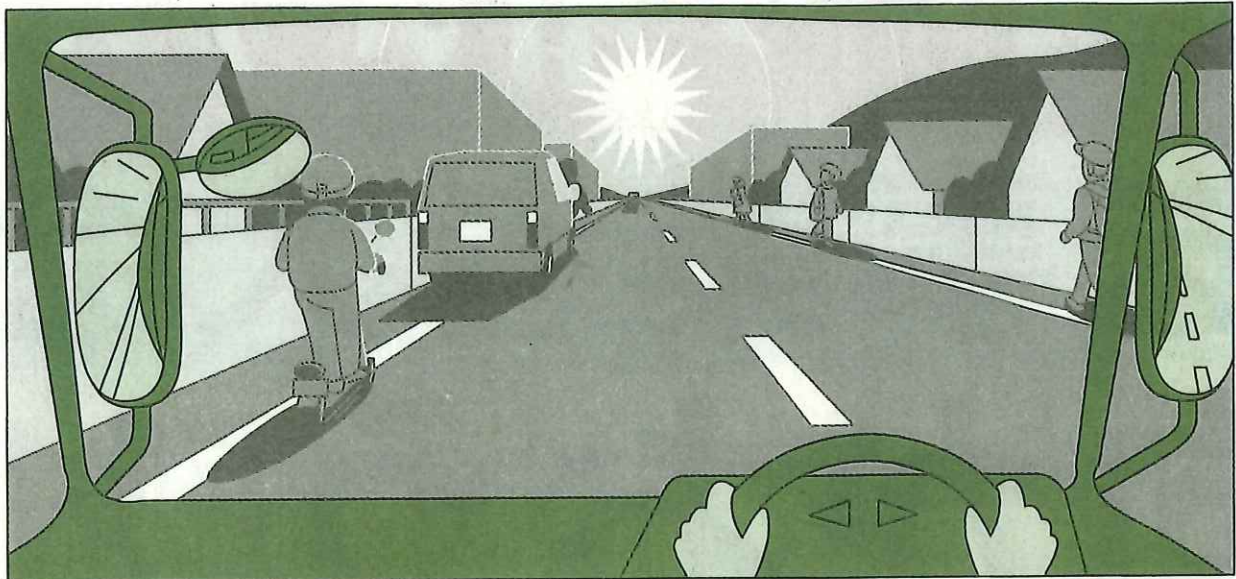


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 161 回〕「駐車車両がある夕方の道路」

状況

あなたは、西日のまぶしい片側1車線道路を走行しています。自車の前方には電動キックボードが走行しています。また、その前には駐車車両が見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



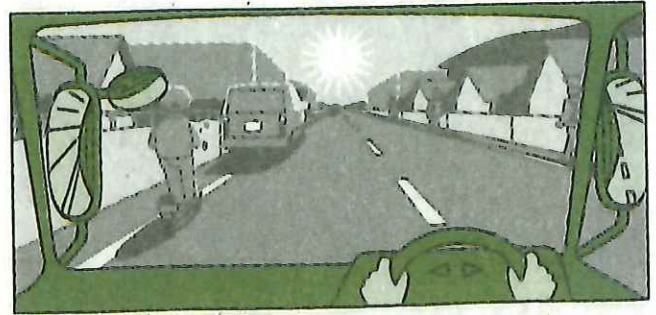
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは、西日のまぶしい片側1車線道路を走行しています。自車の前方には電動キックボードが走行しています。また、その前には駐車車両が見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ① 駐車車両を避けようとして、自車の前に出てきた電動キックボードと衝突する危険があります(図1)。
- ② 駐車車両の死角から出てきた歩行者と衝突する危険があります(図2)。
- ③ 西日に目がくらみ、道路を横断してきた歩行者を見落とし衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ① 自車の前に電動キックボードが走行していることから、その動静に注意を払う必要があります。電動キックボードは、車体が小さく見落としやすい、小回りが利かない、交通ルールを守る意識が希薄などの特性があります。前方に駐車車両があることから、この場面では駐車車両を避けようとして、自車の前に出てくることが考えられます。「電動キックボードは自車の接近に気づいているだろう」と安易に考えて漫然と運転していると、自車の前に出てきた電動キックボードと衝突する危険があります。電動キックボードと距離をとり、その動静をしっかり見きわめましょう。
- ② 駐車車両が死角を作っており、左前方の様子がはっきり分かりません。漫然と側方を通過しようとすると、駐車車両の死角から歩行者が飛び出してきたり、駐車車両が突然発進して衝突するおそれがあります。駐車車両の側方を通過する時は、手前でしっかり安全確認をした上で、十分な側方間隔をとって通過してください。
- ③ この時期は、まぶしい西日が視界の悪化を招き、歩行者や自転車などを見落とししたり、発見が遅れるおそれがあります。人通りの多い場所を通行する時は、

図1

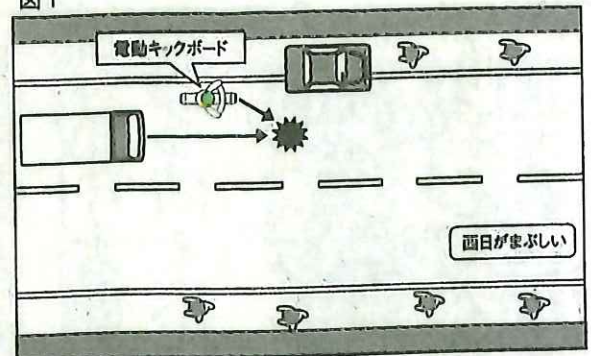


図2

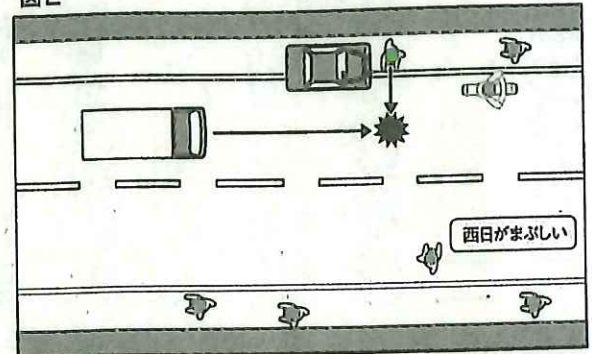
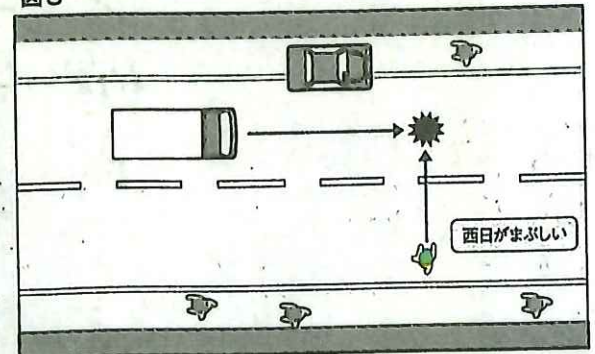


図3



特に注意しましょう。西日がまぶしい時の対策として、サンバイザーを活用しましょう。ただし、上方の視界を遮り、信号機や標識を見落とす危険もあるので、注意してください。